

平成27年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：農業政策課
 担当名：企画・試験研究調整担当
 内線：4035 (単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
B6	水稻高温対策特別事業			一般会計	農林水産業費	農業費	農業研究費	農林総合研究センター費		
事業期間	平成23年度～平成32年度	根拠法令	なし				戦略項目	08	埼玉農業の競争力強化	
							分野施策	030201	収益力ある農業の確立	
<p>1 事業の概要</p> <p>水稻生育期間の高温化傾向が顕著になっており、白未熟粒等の多発による品質低下が大きな問題となっている。</p> <p>そこで、新品種の育成から関係機関との連携による品質向上対策、生産現場における技術対策の普及指導までの総合的な対策を実施する。</p> <p>事務費の節減による減額（留保分減額）</p> <p>(1) 高温登熟障害に強い水稻生産技術開発事業 1,236千円</p> <p>(2) 暑さに負けない水稻新品種育成事業 28千円</p>				<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容</p> <p>ア 高温登熟障害に強い水稻生産技術開発事業 9,307千円</p> <p>イ 暑さに負けない水稻新品種育成事業 5,670千円</p> <p>(2) 事業計画</p> <p>ア 高温登熟障害に強い水稻生産技術開発事業 恒常化する高温条件に対応した稲作技術及び高温時の応急処置方法を開発する。</p> <p>イ 暑さに負けない水稻新品種育成事業 「彩のかがやき」準同質遺伝子系統など高温登熟耐性新品種を育成する。</p> <p>(3) 事業効果 現地での技術普及、指導機関の技術向上、高温耐性品種の育成により、「暑さに負けない埼玉の米づくり」を確立する。</p> <p>(4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 J A等の農業団体との連携</p> <p>(5) 補正概要 経費節減に伴う減額（留保分減額）</p>						
<p>2 事業主体及び負担区分 (県10/10)</p>										
<p>3 地方財政措置の状況 なし</p>										
<p>4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×10人=95,000千円</p>										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額
決定額	1,264							1,264	13,713	
現計額	14,977							14,977		